



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

募金活動を行っています



熊本地震は、その後も絶え間ない余震が続き、被災された方々の心境を思うと、いたたまれなくなります。さぞ、恐怖や不安と闘いながら、「負けまい」と、自らを鼓舞して必死で生きていられることでしょう。

そんな中、我々に何ができるのか。できることをできる限りやるしかないわけですが、今回、生徒会が立ち上がり、募金活動を行っています。募金箱を持ち、校内で呼びかけています。24日の伊里地区の体育祭でも、協力をよびかけました。保護者のみなさまにも、PTA総会前にご協力いただきました。ありがとうございました。



それにしても、震度1以上の余震が、1週間で700回以上…こうなると、常に揺れているかのような錯覚に襲われ、日常生活も困難なものになることでしょう。そのような環境の中で、必死に生きていられる方々へ敬意と、応援の気持ちを込め、微力ながら何かの力になりたいものです。

募金は、PTA総会前の会場入り口や、24日の伊里地区体育祭でも行いました。たくさんのご協力に感謝しています。



今年もたっぷりボランティア



伊里中学校では、ボランティア活動が活発に行われています。

参観日などの、学校のお客様をお迎えする日は、環境委員会を中心となり、朝の清掃ボランティアを呼びかけています。

この23日の参観日の日にも、朝から清掃活動に取り組みました。この週は家庭訪問があり、日程の関係で清掃時間が十分にとれていないので、まずは各教室の清掃です。さっそく1年生も多く参加しており、嬉しく思いました。写真は1年生の教室の清掃風景です。

また、花を植えたプランターを並べるなどの活動にも一生懸命に取り組めていました。

ボランティアとは、「自分の使える時間を、無理のない範囲で、自主的に、無償で、自分以外の誰か何かのために」行う活動です。伊里中学校のボランティアを、みんなの力でますます盛り上げて行きましょう！



23日、ありがとうございました!



23日は参観日でした。ご来校いただいたみなさま、ありがとうございました。
入学したばかりの1年生、進級して新しい環境の中での2年生・3年生の姿はいかがだったでしょうか。

授業の様子もご紹介したかったのですが、実は今回は、お知らせしましたように駐車場が大変で、ずっと駐車場の案内をしております、授業を見に行くことができませんでした、残念!
後ほど聞くと、教員側は手応えを感じた授業が多かったようです。



PTA総会には、69名にご参加をいただき、昨年度の報告、今年度の活動計画の承認等を行いました。

教員の自己紹介では、今年はそれぞれが熱く?楽しく?語り、会場を沸かせました。みなさんなかなかやりますな。楽しみな1年ですって何がだ(苦笑)?

その後、学年懇談、部活動懇談と続きました。それぞれにご参加ありがとうございました。

ご欠席のみなさまには、総会の要項をお子様便でお届けしています。またご覧ください。



今年は、会場準備をしている時に、ふと思いついて「プチ黑板アート」を描いてお迎えしてみました。時間がなかったのですが、やはり職業柄でしょうか、やり始めると楽しくて、もうちょっとしたい!という気持ちとの闘いが大変でした。会の始まる前から、「先生、カワイイですね」と言ってくれる方もいて、有頂天になりました。あ。もちろんカワイイって絵のことですよ(わかってるわ!)。「ブタもおだてりゃ木に登る」…来年はもっとすごいのでお迎えするぞと、(今は)思っている秋山でした。

二十四節気 穀 雨



穀雨とは、たくさんの穀物を潤す春の雨が降る頃のこと。この季節の終わりには、夏の始まりを告げる「八十八夜」が訪れます。

初候 「葷始めて生ず(あしはじめてしょうず)」 4月20日~24日頃

水辺の葷が、芽を吹き始める頃。夏には背を伸ばし、秋には金色の穂が風になびきます。

次候 「霜止んで苗出ず(しもやんでなえいず)」 4月25日~29日頃

霜の覆いがとれ、健やかに苗が育つ頃。種籾が芽吹き、すくすくと青々と伸びていきます。